

2 . アンケート調査票

復興モニター調査 2005

アンケート調査へのご協力をお願い

阪神・淡路大震災から10年余が経過しました。兵庫県では、復興10年後の出発点となる今年度を、震災の経験と教訓を踏まえた新たなスタートの一年として位置づけ、被災高齢者の自立支援、まちのにぎわいづくり、「1月17日は忘れない」ための取り組みを進めています。

このたび、復興フォローアップの一環として、生活、産業、まちづくりなどの復興の現状や取り組み状況、課題等を把握するため、復興の取り組みの現場でご活躍されている皆様のご意見をおうかがいする「復興モニター調査2005」の調査票をお送りしました。

皆様のご意見を今後の復興フォローアップ施策に幅広く反映し、皆様と一緒に、さらなる創造的復興を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくご協力をお願いします。

なお、ご回答いただいた内容を調査目的以外に利用することは決してありません。

平成17年 8月吉日

ご回答いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒にて、**8月25日(木)までにご投函くださいますようお願い**します。

この調査についてのお問い合わせは・・・

兵庫県県土整備部

住宅復興局 復興推進課 復興調整担当

Tel:078-362-4335

Fax:078-362-4378

1. あなたの活動状況について、おうかがいします。

問1 あなたの性別について、該当する番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢について、該当する番号に○をつけてください。

1. 29歳以下 2. 30～39歳 3. 40～49歳
4. 50～59歳 5. 60歳以上

問3 あなたの活動内容についておうかがいします。

①あなたの活動内容について、該当する番号に○をつけてください。

1. 高齢世帯生活援助員 (SCS) 2. 高齢者世話付住宅生活援助員 (LSA)
3. 民生・児童委員 4. 中小企業支援専門家
5. 地域しごと情報広場アドバイザー・相談員
6. まちづくり専門家 7. まち育てサポーター

②あなたの主な活動地域について、該当する番号に○をつけてください。

1. 神戸地域 2. 阪神地域 3. 東播磨地域 4. 淡路地域
5. 被災地域全域 6. 県内全域 7. その他 ()

問4 あなたの活動の開始時期について、該当する番号に○をつけて、年月を記入してください。

1. 震災前から活動している (平成・昭和 年 月～)
2. 震災後、活動を始めた (平成 年 月～)

2. あなたが活動しているまちの復興の現状について、おうかがいします。

問5 被災地全体の復旧・復興についてどうお考えですか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
かなり速い	やや速い	どちらともいえない	やや遅い	かなり遅い

問6 復興はどの分野が進み、どの分野が進んでいないとお考えですか。空欄の該当する個所に○をつけてください。「復興が進んでいない」を選んだ場合は、その要因となっている番号(1~4)を記入してください。よくわからない場合は空欄のままでも結構です。

		復興が進んでいる	どちらともいえない	復興が進んでいない (要因) 1. 震災による要因 2. 不況等による要因 3. 社会構造的な要因 4. その他の要因
福祉・住まい	1. 地域の見守り体制 (高齢者の見守り、健康づくりなど)			
	2. コミュニティづくり (コミュニティづくり、仲間づくりなど)			
	3. 住まいづくり (復興公営住宅入居者への支援など)			
	4. バリアフリーのまちづくり (エレベーターの設置、ノンステップ&低床バスなど)			
生活・文化	5. 地域活動・ボランティア活動 (団体・NPO等のボランティア活動支援など)			
	6. 教育・体験活動 (学校づくり、体験活動、防災教育など)			
	7. 文化 (芸術文化活動、文化の拠点づくりなど)			
	8. 街並み・景観 (街並み・景観、歴史的建造物、緑化など)			
	9. 多文化社会づくり (国際交流、男女共同参画など)			
	10. 都市と農山漁村の交流 (交流の担い手づくり、拠点づくりなど)			
産業・雇用	11. 既存産業の活性化 (中小企業対応、産地別、業種・観光など)			
	12. 新産業の創造 (ベンチャー企業支援、ITなど)			
	13. 国際経済交流 (国際経済、外資系企業立地など)			
	14. 産業構造改革 (産業構造改革、特区構想の推進など)			
	15. 雇用 (就業機会の創出、職業能力開発など)			
防災	16. 安全・安心のまちづくり (自主防災組織の育成、住居の耐震化など)			
	17. 行政の危機管理体制づくり (行政の災害対応力向上、地域防災計画など)			
	18. 災害救急医療 (災害救急医療拠点、システムづくりなど)			
	19. 防災基盤、施設 (防災拠点づくり、市街地の不燃化など)			
まちづくり	20. 震災の経験と教訓の継承・発信 (人と防災未来センター、117モデルネットワークなど)			
	21. 区画整理・市街地再開発 (区画整理・市街地再開発事業など)			
	22. 環境 (グリーンエネルギー、廃棄物リサイクルなど)			
	23. 新都市づくり (住宅、商業、産業施設などの新都市づくり)			
	24. 道路・鉄道・港湾等 (道路、鉄道、港湾、空港など)			
	25. フライライン (電気、ガス、上下水道、電線共同溝など)			
	26. 河川・海岸・ダム等 (河川・海岸・ダム・堤防など)			

問7 あなたがかかわっている分野の復旧・復興についてどうお考えですか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
かなり速い	やや速い	どちらともいえない	やや遅い	かなり遅い

3. あなたの活動の取り組みの現状・課題について、おうかがいします。

災害復興公営住宅等では、高齢世帯生活援助員(SCS)や高齢者世話付住宅生活援助員(LSA)、民生委員・児童委員、いきいき県住推進員、保健師、交番相談員など各種の支援者による被災高齢者等の見守り活動が展開されています。

しかしながら、災害復興公営住宅では、年々高齢化率が上昇する中、日常生活動作(ADL)の低下からケアを必要としたり、閉じこもりがちの高齢者等も多くなってきており、現状の見守り体制の適切な見直しや、超高齢社会を見据えた住民同士による見守り体制のしくみづくりなども必要になっています。

問8 現在、あなたの支援活動はうまくいっていますか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
うまくいっている	どちらかといえば うまくいっている	どちらともいえない	どちらかといえば うまくいっていない	うまくいっていない

問9 あなたの支援活動の内容についておうかがいします。

①支援活動の内容について、該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
現状で十分である	どちらかといえば 現状で十分である	どちらともいえない	どちらかといえば 現状では不十分である	現状では不十分である

②支援活動の不十分な点は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。
(複数回答可)

- 見守りの訪問回数が少ない
- 夜間や休日の対応が不十分
- 高齢者等の相談・要望に応えきれていない
- 高齢者等が訪問等を拒否する
- アルコール依存者・精神障害者への対応が困難
- その他(具体的に: _____)

(補足することがあれば、具体的にご記入ください)

③高齢者等から多い相談・要望は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

- 病気・医療面の相談等
- 介護面・介護保険の相談等
- くらし面の相談等
- 経済面の相談等
- 人間関係の相談等
- その他(具体的に: _____)

(補足することがあれば、具体的にご記入ください)

問10 あなたと他の支援者とのネットワークについておうかがいします。

①他の支援者との連携について、該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
連携できている	どちらかといえば 連携できている	どちらともいえない	どちらかといえば 連携できていない	連携できていない

②連携できているのは、どのような支援者ですか。該当する番号に○をつけてください。
(複数回答可)

- SCS
- LSA
- 民生委員・児童委員
- いきいき県住推進員
- 保健師
- 栄養士
- ケアマネジャー
- 在宅介護支援センター
- その他(具体的に: _____)

③連携することが望ましいのは、どのような支援者だとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

- SCS
- LSA
- 民生委員・児童委員
- いきいき県住推進員
- 保健師
- 栄養士
- ケアマネジャー
- 在宅介護支援センター
- その他(具体的に: _____)

④連携できていないのは、どのようなことが原因だとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

- 連携する必要がない
- 情報交換などの機会や場がない
- 情報交換をする時間がない
- 情報交換をすること自体に制約がある
- その他(具体的に: _____)

(補足することがあれば、具体的にご記入ください)

4. 今後の取り組み方策について、おうかがいします。

問11 今後の取り組み方策について、早急に必要取り組みや中長期的な取り組みはどのようなことであるとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

区 分	早急に必要 な取り組み	中長期的な 取 り 組 み
1. 支援者の増加による訪問回数の増加		
2. 高齢者等の多様な要望に対応するための体制の強化(人材養成等)		
3. 夜間・休日の見守り体制の充実		
4. 高齢者の生きがいづくり・健康づくり施策の充実		
5. 災害復興公営住宅だけでなく一般の公営住宅での高齢者見守り体制の整備(LSA等の見守り支援体制の一般公営住宅への拡大)		
6. 地域住民を巻き込んだ見守り体制の整備(支援者だけでなく、地域住民による見守り体制づくり)		
7. 見守り活動における支援者、自治会、NPO等の連携の強化(支援者、自治会、NPO等が連携した見守り活動の仕組みづくり)		
8. 公営住宅の空き室等を活用した見守り活動の取り組み(公営住宅の空き室や空き教室、空き店舗等の在宅介護支援センター等への活用)		
9. 介護保険法の改正を踏まえた新たな地域ケアシステムの構築(「地域包括支援センター」の積極的展開など)		
10. その他(具体的に:)		

(具体的にもっと補足することやご提案などがあれば、ご記入ください)

○現在の取り組みでうまくいっている事例やユニークな取り組み、他の地域にも広げていくべき取り組みなど、現在の取り組みの中で特にお気付きの点やご提案などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

お手数ですが、同封の封筒に入れて、8月25日(木)までにお出し下さい。

復興モニター調査 2005

アンケート調査へのご協力をお願い

阪神・淡路大震災から10年余が経過しました。兵庫県では、復興10年後の出発点となる今年度を、震災の経験と教訓を踏まえた新たなスタートの一年として位置づけ、被災高齢者の自立支援、まちのにぎわいづくり、「1月17日は忘れない」ための取り組みを進めています。

このたび、復興フォローアップの一環として、生活、産業、まちづくりなどの復興の現状や取り組み状況、課題等を把握するため、復興の取り組みの現場でご活躍されている皆様のご意見をおうかがいする「復興モニター調査2005」の調査票をお送りしました。

皆様のご意見を今後の復興フォローアップ施策に幅広く反映し、皆様と一緒に、さらなる創造的復興を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくご協力をお願いします。

なお、ご回答いただいた内容を調査目的以外に利用することは決してありません。

平成17年 8月吉日

ご回答いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒にて、**8月25日(木)**までにご投函くださいますようお願いいたします。

この調査についてのお問い合わせは・・・

兵庫県県土整備部
住宅復興局 復興推進課 復興調整担当
Tel:078-362-4335
Fax:078-362-4378

1. あなたの活動状況について、おうかがいします。

問1 あなたの性別について、該当する番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢について、該当する番号に○をつけてください。

1. 29歳以下 2. 30～39歳 3. 40～49歳
4. 50～59歳 5. 60歳以上

問3 あなたの活動内容についておうかがいします。

①あなたの活動内容について、該当する番号に○をつけてください。

1. 高齢世帯生活援助員 (SCS) 2. 高齢者世話付住宅生活援助員 (LSA)
3. 民生・児童委員 4. 中小企業支援専門家
5. 地域しごと情報広場アドバイザー・相談員
6. まちづくり専門家 7. まち育てサポーター

②あなたの主な活動地域について、該当する番号に○をつけてください。

1. 神戸地域 2. 阪神地域 3. 東播磨地域 4. 淡路地域
5. 被災地域全域 6. 県内全域 7. その他 ()

問4 あなたの活動の開始時期について、該当する番号に○をつけて、年月を記入してください。

1. 震災前から活動している (平成・昭和 年 月～)
2. 震災後、活動を始めた (平成 年 月～)

2. あなたが活動しているまちの復興の現状について、おうかがいします。

問5 被災地全体の復旧・復興についてどうお考えですか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
かなり速い	やや速い	どちらともいえない	やや遅い	かなり遅い

問6 復興はどの分野が進み、どの分野が進んでいないとお考えですか。空欄の該当する個所に○をつけてください。「復興が進んでいない」を選んだ場合は、その要因となっている番号(1~4)を記入してください。よくわからない場合は空欄のままでも結構です。

	復興が進んでいる	どちらともいえない	復興が進んでいない (要因) 1. 震災による要因 2. 不況等による要因 3. 社会構造的な要因 4. その他の要因
福祉・住まい	1. 地域の見守り体制 (高齢者の見守り、発達づくりなど)		
	2. コミュニティづくり (コミュニティづくり、仲間づくりなど)		
	3. 住まいづくり (復興公営住宅入居者への支援など)		
	4. バリアフリーのまちづくり (エレベーターの設置、ノンステップバスなど)		
	5. 地域活動・ボランティア活動 (団体・NPO等のボランティア活動支援など)		
生活・文化	6. 教育・体験活動 (学校づくり、体験活動、防災教育など)		
	7. 文化 (音楽文化活動、文化の拠点づくりなど)		
	8. 街並み・景観 (街並み・景観、歴史的建造物、緑地など)		
	9. 多文化社会づくり (国際交流、男女共同参画など)		
	10. 都市と農山漁村の交流 (交流の場づくり、拠点づくりなど)		
産業・雇用	11. 既存産業の活性化 (中小企業対策、商店街、集客・観光など)		
	12. 新産業の創造 (ベンチャー起業支援、ITなど)		
	13. 国際経済交流 (国際経済、外資系企業誘致など)		
	14. 産業構造改革 (産業構造改革、特区構想の推進など)		
	15. 雇用 (就業機会の創出、職業能力開発など)		
防災	16. 安全・安心のまちづくり (自主防災組織の育成、住宅の耐震化など)		
	17. 行政の危機管理体制づくり (行政の災害対応力向上、地域防災計画など)		
	18. 災害救急医療 (災害救急医療拠点、システムづくりなど)		
	19. 防災基盤・施設 (防災拠点づくり、市街地の不燃化など)		
	20. 震災の経験と教訓の継承・発信 (人と防災未来センター、17メモリアルのフォローアップなど)		
まちづくり	21. 区画整理・市街地再開発 (区画整理・市街地再開発事業など)		
	22. 環境 (グリーンフェスティバル、廃棄物リサイクルなど)		
	23. 新都市づくり (住宅、産業、商業施設などの新都市づくり)		
	24. 道路・鉄道・港湾等 (道路、鉄道、港湾、空港など)		
	25. ライフライン (電気、ガス、上下水道、電線共同溝など)		
	26. 河川・海岸・ダム等 (河川・海岸・ダム・防潮など)		

問7 あなたがかかわっている分野の復旧・復興についてどうお考えですか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
かなり速い	やや速い	どちらともいえない	やや遅い	かなり遅い

3. あなたの活動の取り組みの現状・課題について、おうかがいします。

被災地の産業は、震災被害に加え、その後の復興特需の終えん、全国的な景気低迷の三重苦という課題を抱えています。

特に、被災地の商店街・小売市場を取り巻く環境は、景気低迷の影響や消費者ニーズの多様化のため厳しさを増しており、空き店舗増加によるぎわいの喪失や活性化をリードする人材の不足といった状況にあり、商店街・小売市場が、地域コミュニティの核としての機能を発揮できるよう、活性化を図る必要があります。

問8 現在、あなたの支援活動はうまくいっていますか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1 2 3 4 5
 現状で十分である どちらかといえば現状で十分である どちらともいえない どちらかといえば現状では不十分である 現状では不十分である

問9 あなたの支援活動の内容についておうかがいします。

①支援活動の内容について、該当する番号に1つ○をつけてください。

1 2 3 4 5
 現状で十分である どちらかといえば現状で十分である どちらともいえない どちらかといえば現状では不十分である 現状では不十分である

②支援活動の不十分な点は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。
 (複数回答可)

1. 事業者等からの相談・要望が少ない
 2. 事業者等の相談・要望にこたえていない
 3. 事業者の要望等と行政の支援をうまくマッチングできない
 4. 行政などの制度や情報を的確に把握できない
 5. その他(具体的に: _____)
- (補足することがあれば、具体的にご記入ください)

③事業者等から多い相談・要望は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 資金面の相談等
 2. 経営面の相談等
 3. 人材面の相談等
 4. 技術面の相談等
 5. その他(具体的に: _____)
- (補足することがあれば、具体的にご記入ください)

問10 あなたと他の支援者とのネットワークについておうかがいします。

①他の支援者との連携について、該当する番号に1つ○をつけてください。

1 2 3 4 5
 連携できている どちらかといえば連携できている どちらともいえない どちらかといえば連携できていない 連携できていない

②連携できているのは、どのような支援者ですか。該当する番号に○をつけてください。
 (複数回答可)

1. 公認会計士
2. 税理士
3. 行政書士
4. 弁護士
5. 建築士
6. その他(具体的に: _____)

③連携することが望ましいのは、どのような支援者だとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 公認会計士
2. 税理士
3. 行政書士
4. 弁護士
5. 建築士
6. その他(具体的に: _____)

④連携できていない原因は、どのようなことだとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 連携する必要がない
 2. 情報交換などの機会や場がない
 3. 情報交換をする時間がない
 4. 情報交換をすること自体に制約がある
 5. その他(具体的に: _____)
- (補足することがあれば、具体的にご記入ください)

4. 今後の取り組み方策について、おうかがいします。

問11 今後の取り組み方策について、早急に必要な取り組みや中長期的な取り組みはどのようなことであるとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

区 分	早急に必要 な取り組み	中長期的な 取 り 組 み
1. 基盤整備などのハード整備への支援の充実		
2. 支援者間の連携ネットワークの確立		
3. 中小企業の第二創業・経営革新を促していく効果的な支援の取り組み		
4. 中小企業の経営基盤強化のための金融支援制度の充実		
5. 商店街等のコミュニティ機能向上への取り組み		
6. 商店街等の空き店舗等を活用したにぎわいづくりの取り組み (空き店舗への情報発信拠点や公的サービス施設の設置等)		
7. 商店街と学校、自治会、婦人会など地域の団体等との連携強化		
8. まちづくりやにぎわいづくりへの大学生など若い世代の参画促進		
9. 子どもたちの活気を、まちのにぎわいにつなげるような取り組み		
10. その他(具体的に：)		

(具体的にもっと補足することやご提案などがあれば、ご記入ください)

○現在の取り組みでうまくいっている事例やユニークな取り組み、他の地域にも広げていくべき取り組みなど、現在の取り組みの中で特にお気付きの点やご提案などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

お手数ですが、同封の封筒に入れて、8月25日(木)までにお出し下さい。

復興モニター調査 2005

アンケート調査へのご協力をお願い

阪神・淡路大震災から10年余が経過しました。兵庫県では、復興10年後の出発点となる今年度を、震災の経験と教訓を踏まえた新たなスタートの一年として位置づけ、被災高齢者の自立支援、まちのにぎわいづくり、「1月17日は忘れない」ための取り組みを進めています。

このたび、復興フォローアップの一環として、生活、産業、まちづくりなどの復興の現状や取り組み状況、課題等を把握するため、復興の取り組みの現場でご活躍されている皆様のご意見をおうかがいする「復興モニター調査2005」の調査票をお送りしました。

皆様のご意見を今後の復興フォローアップ施策に幅広く反映し、皆様と一緒に、さらなる創造的復興を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくご協力をお願いします。

なお、ご回答いただいた内容を調査目的以外に利用することは決してありません。

平成17年8月吉日

ご回答いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒にて、**8月25日(木)までにご投函ください**ますようお願いいたします。

この調査についてのお問い合わせは・・・

兵庫県県土整備部

住宅復興局 復興推進課 復興調整担当

Tel:078-362-4335

Fax:078-362-4378

1. あなたの活動状況について、おうかがいします。

問1 あなたの性別について、該当する番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢について、該当する番号に○をつけてください。

1. 29歳以下 2. 30～39歳 3. 40～49歳
4. 50～59歳 5. 60歳以上

問3 あなたの活動内容についておうかがいします。

①あなたの活動内容について、該当する番号に○をつけてください。

1. 高齢世帯生活援助員 (SCS) 2. 高齢者世話付住宅生活援助員 (LSA)
3. 民生・児童委員 4. 中小企業支援専門家
5. 地域しごと情報広場アドバイザー・相談員
6. まちづくり専門家 7. まち育てサポーター

②あなたの主な活動地域について、該当する番号に○をつけてください。

1. 神戸地域 2. 阪神地域 3. 東播磨地域 4. 淡路地域
5. 被災地域全域 6. 県内全域 7. その他 ()

問4 あなたの活動の開始時期について、該当する番号に○をつけて、年月を記入してください。

1. 震災前から活動している (平成・昭和 年 月～)
2. 震災後、活動を始めた (平成 年 月～)

3. あなたの活動の取り組みの現状・課題について、おうかがいします。

被災地では、市街地の再生を目指した復興市街地整備事業が各地で進められてきましたが、まだ一部には事業進行中の地区もあり、これらの地区等での住宅再建や商業機能の再開、失われたにぎわい回復、中心市街地の活性化などが課題となっています。

問8 現在、あなたの支援活動はうまくいっていますか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
うまくいっている	どちらかといえば うまくいっている	どちらともいえない	どちらかといえば うまくいっていない	うまくいっていない

問9 あなたの支援活動の内容についておうかがいします。

①支援活動の内容について、該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
現状で十分である	どちらかといえば 現状で十分である	どちらともいえない	どちらかといえば 現状では不十分である	現状では不十分である

②支援活動の不十分な点は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。
(複数回答可)

1. 住民やまちづくり協議会等からの相談・要望自体が少ない
2. 住民やまちづくり協議会等からの相談・要望に応えきれていない
3. 住民やまちづくり協議会等の要望等と行政の支援をうまくマッチングできない
4. 行政などの制度や情報を的確に把握できない
5. その他(具体的に: _____)

(補足することがあれば、具体的にご記入ください)

③多い相談・要望は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。
(複数回答可)

1. コミュニティ面の相談等
2. まちづくり事業面の相談等
3. 活動資金面の相談等
4. 行政等の支援制度面の相談等
5. その他(具体的に: _____)

(補足することがあれば、具体的にご記入ください)

問10 あなたと他の支援者とのネットワークについておうかがいします。

①他の支援者との連携について、該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
連携できている	どちらかといえば 連携できている	どちらともいえない	どちらかといえば 連携できていない	連携できていない

②連携できているのは、どのような支援者ですか。該当する番号に1つ○をつけてください。
(複数回答可)

1. 民生委員・児童委員
2. 建築士
3. コンサルタント
4. 弁護士
5. その他(具体的に: _____)

③連携することが望ましいのは、どのような支援者だとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 民生委員・児童委員
2. 建築士
3. コンサルタント
4. 弁護士
5. その他(具体的に: _____)

④連携できていないのは、どのようなことが原因だとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 連携する必要がない
2. 情報交換などの機会や場がない
3. 情報交換をする時間がない
4. 情報交換をすること自体に制約がある
5. その他(具体的に: _____)

(補足することがあれば、具体的にご記入ください)

4. 今後の取り組み方策について、おうかがいします。

問11 今後の取り組み方策について、早急に必要取り組みや中長期的な取り組みはどのようなことであるとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

区 分	早急に必要 な取り組み	中長期的な 取 り 組 み
1. 震災復興公営住宅等の住民と一般地域住民との交流・連携		
2. まちづくり協議会等の活動基盤強化のための助成等の充実		
3. 空き地を活用したにぎわいづくりや緑化活動の推進		
4. 震災による人口構成や土地利用の変化等に対応したまちづくりの展開		
5. まちづくり活動におけるまちづくり協議会やNPO等の連携の取り組み		
6. まちづくりやにぎわいづくりへの大学生など若い世代の参画促進		
7. 子どもたちの活気をまちのにぎわいにつなげるような取り組み		
8. まちのにぎわい創出のために地域文化を効果的に取り組むための取り組み		
9. その他(具体的に：)		

(具体的にもっと補足することやご提案などがあれば、ご記入ください)

○現在の取り組みでうまくいっている事例やユニークな取り組み、他の地域にも広げていくべき取り組みなど、現在の取り組みの中で特にお気づきの点やご提案などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

お手数ですが、同封の封筒に入れて、8月25日(木)までにお出し下さい。

